

かわさき区の宝物シート

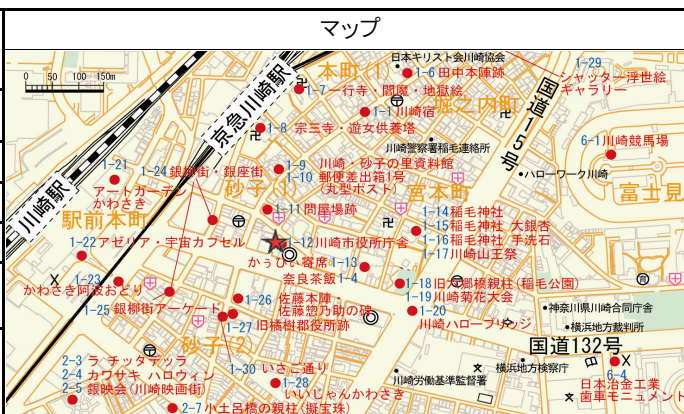
宝物No.	かわさきやくしよしちょうしゃ 川崎市役所市庁舎
1-12	

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区宮本町1
問い合わせ	川崎市総務局総務部 庁舎管理課
TEL	044-200-2081
FAX	044-200-3749
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅より徒歩8分



基礎情報

- 鉄筋コンクリート造りの川崎市役所本庁舎は、戦前の昭和13年(1938)から戦火をくぐりぬけ、現在に至るまで70年以上使用され続けており、川崎区近代化遺産・産業文化財に選定されている。
- 時計塔は地上36.7m、8階建てに相当し、川崎市のシンボルとして広く親しまれている。

由来・エピソード

- 戦時中は迷彩色をまとい空襲監視塔として利用されていた。電気が切れた時の警報用として教安寺(小川町)の鐘が置かれていたこともある。教安寺の梵鐘は文政12年(1829)鑄造の大変貴重なもので、戦時中多くの寺の梵鐘が武器の材料として集められたが、市役所に保管されたことで難を逃れ、現在川崎市内に残る江戸時代につくられた梵鐘の3つのうちの1つとして今も教安寺に残っている。
- 今では、毎日午前8時から午後5時の毎正時、イギリス・ウエストミンスター寺院の鐘のメロディーが自動にて奏でられる。
- 本庁舎玄関にある柱時計は竣工記念に市民から寄贈されたもので、もともとはゼンマイ仕掛けの振り子時計だったが20年以上前に電気時計に改造され現在も現役で使用されている。この柱時計もまた市庁舎とともに70年以上を歩み続ける産業遺産といえる。

補足・その他

関連シート

(2-6)教安寺